

PTA文化部クリスマス会を ホワイトハウスで開催しました。

遺愛のクリスマス行事の最初として、PTA文化部主催のクリスマス会が11月26日（水）午後1時よりホワイトハウスで行われました。全部で29名の方々が参加され、とても和やかな会となりました。

はじめに聖書科の江間先生の司会で礼拝を行い、メッセージは「安らげる場所（私の居場所）」という題で、校長が担当しました。最初に北星余市高校の放送部が作成したDVD番組『道しるべ』を見ていただき（とても素晴らしい内容でした。）、次に、仁藤夢乃さんという若い女性が、転落する女子高校生のためのサポートセンターを立ちあげ支援しているという新聞記事を紹介しました。ふだんの生活の中で、若い人達に心から安らげる「居場所」がなくなっていて、様々な誘惑から転落し、進むべき道を見失っている状況をお話し、家庭で、学校で、今一度「居場所」をつくることの大切さをお話しさせていただきました。聖書のクリスマス物語によると、キリストが生まれた時、宿屋には泊まる場所がなく、馬小屋で生まれたと書かれています。客間から締め出され、居場所がなかったキリストが私たちに永遠の居場所を与えてくださる。それがクリスマスの恵みであるというメッセージでした。

礼拝が終わったあとは、おいしいお茶とお菓子を食べ、ビンゴゲームをして楽しい一時を過ごしました。この日は、夕方に遺愛の前庭のクリスマスツリーの点灯式があり、生徒とともに参加された方もいらっしゃいました。



2014年11月27日（木）